

平成 29 年度

全国学力・学習状況調査結果分析報告書

(ガイドブック)



平成 29 年 4 月に実施された「平成 29 年度全国学力・学習状況調査」の結果が、8 月 28 日に文部科学省から公表されました。

本県では、全国の平均正答率を上回ったのは中学校数学 A のみにとどまりましたが、中学校 3 年生は小学校 6 年生時（平成 26 年度）の調査の結果と比べると、全教科で大きく改善しています。また、平均無解答率も、小中学校あわせて 8 教科中 6 教科で全国平均よりも低く、子どもたちの最後まで頑張ろうとする姿が見られ、「やればできる」という思いが形になってきています。

一方で、国語では、「引用したり要約したりして書くこと」「根拠に基づいて自分の考えを書くこと」に、算数・数学では、「割合」「図形」に経年的に課題が見られます。また、質問紙調査結果から、授業において子どもたちが自ら課題を解決するための主体的な学びや、家庭での学習時間やスマホの使用時間、読書習慣に引き続き課題が見られます。

今回の結果を踏まえ、各学校においては、子どもたちが「わかった」「できた」と実感できる教育実践を教職員が一丸となってさらに積み上げていくことが、また、家庭・地域においては、生活習慣、学習習慣、読書習慣の確立に向けた取組を広げていくことが大切です。

子どもたちの学力が向上することは、自尊感情・自己肯定感やチャレンジする力を高め、将来の夢を実現するための可能性や選択肢を広げることにつながります。私たち大人一人ひとは、子どもたちのために、そのやる気や頑張りに応えられるよう取り組んでいく必要があります。

現在、三重の子どもたちの夢や希望をかなえる学力を育てていくことができるよう、県・市町等教育委員会、学校・家庭・地域が一体となって「みえの学力向上県民運動セカンドステージ」に取り組んでいます。子どもたちの豊かな未来の実現に向け、引き続き県民の皆様方の御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

～全ては「子どもたちの笑顔」のために～

平成 29 年 12 月
三重県教育委員会

第1章 三重県全体概況【本冊：P3～】

教科に関する調査の結果

中学校3年生は、小学校6年生時から大きく改善しました！

教科に関する調査では、全国の平均正答率を上回ったのは中学校数学Aのみにとどまりましたが、平均無解答率（問題に何も答えていなかった割合）は、小中学校合わせて8教科中6教科で全国平均よりも低く（良好）、最後まで頑張ろうとする姿が見られます。

【平均正答率】

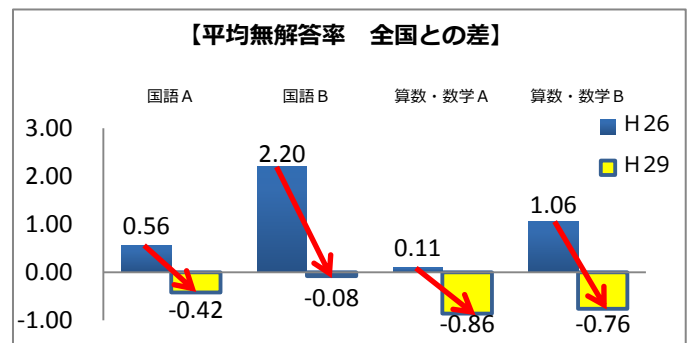
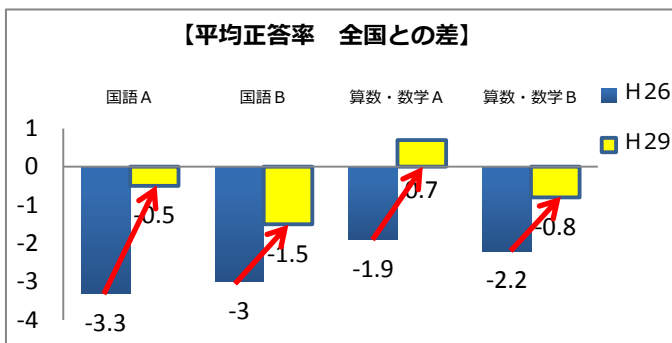
	国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B
小学校	73.6(-1.2)	57.0(-0.5)	77.4(-1.2)	44.6(-1.3)
中学校	76.9(-0.5)	70.7(-1.5)	65.3(+0.7)	47.3(-0.8)

【平均無解答率】

	国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B
小学校	2.26(-0.51)	4.32(+0.01)	1.44(-0.15)	6.64(+0.22)
中学校	2.01(-0.42)	3.72(-0.08)	5.39(-0.86)	10.95(-0.76)

* () の数値は、全国平均との差を示します。各教科の「A」は主として「知識」に関する問題、「B」は主として「活用」に関する問題が出題されています。

また、平成26年度小学校第6学年時と平成29年度中学校第3学年の教科に関する調査において、全教科で平均正答率・平均無解答率ともに全国との差に改善が見られます。各学校において、小学校第6学年時の調査で明らかになった課題の改善に取り組まれた成果と考えられます。

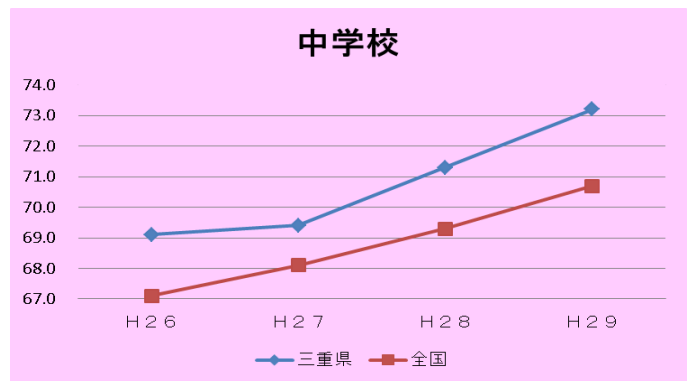
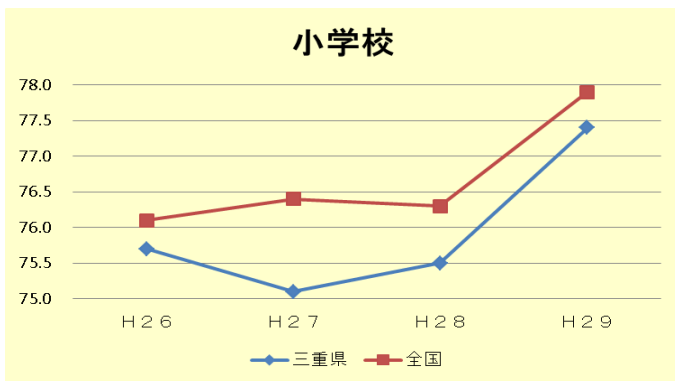


質問紙調査の結果

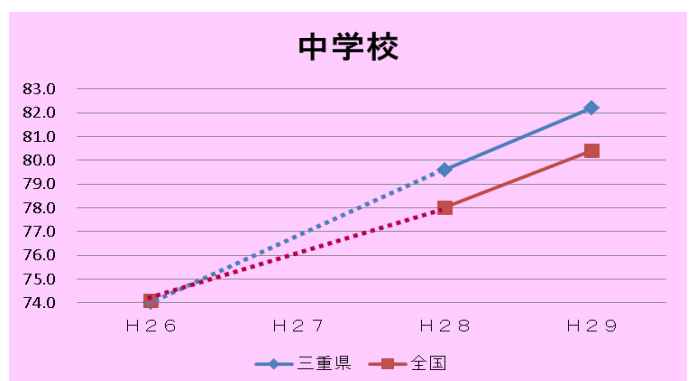
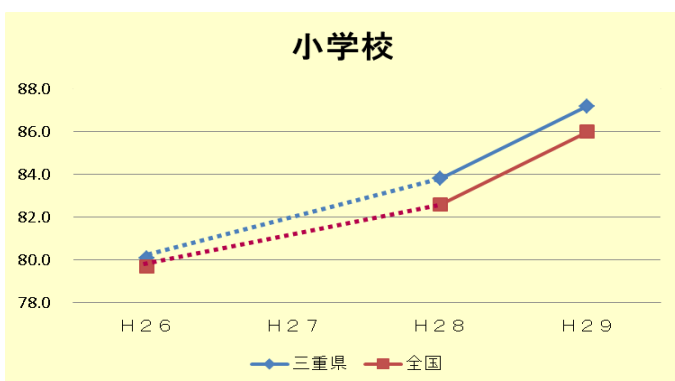
継続して生活習慣・学習習慣等に課題があります！

児童生徒質問紙調査では、「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に、肯定的に回答（「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」）した児童生徒の割合は増加傾向にあります。多くの大人が関わり励ますことで、子どもたちの自尊感情・自己肯定感が高まっています。

【自分には、よいところがあると思う<児童生徒質問紙調査>】 * グラフの縦軸の数値は肯定的な回答をした子どもの割合を示します。



【先生はよいところを認めてくれる<児童生徒質問紙調査>】 * グラフの縦軸の数値は肯定的な回答をした子どもの割合を示します。

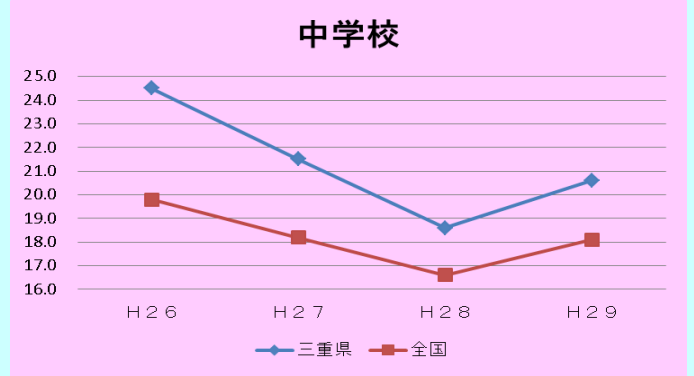
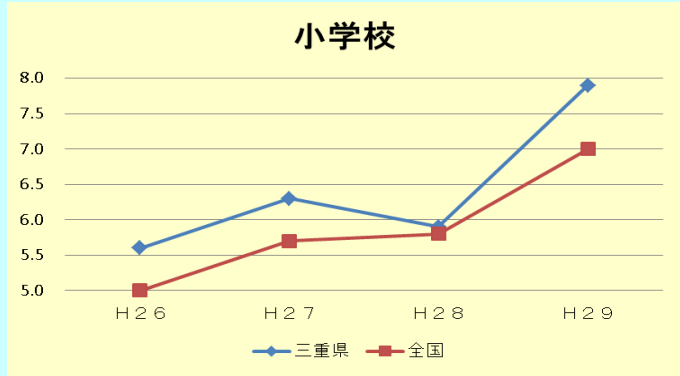


* 平成27年度は同様の質問項目がありませんでした。

一方で生活習慣（スマホ等の使用時間）、学習習慣（家庭での学習時間）、読書習慣（自主的な読書時間）には継続的に課題が見られます。とりわけ休日の学習時間は、全国と比較すると、小中学校ともに依然として大きな差があります。

【平日のスマホ、インターネットの使用時間（3時間以上）＜児童生徒質問紙調査＞】

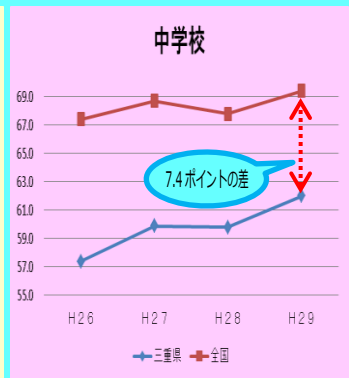
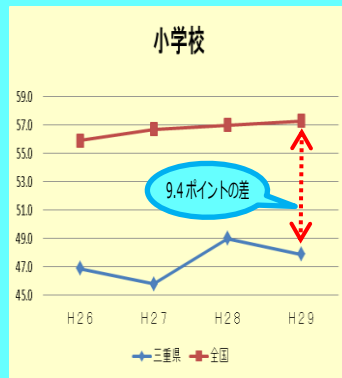
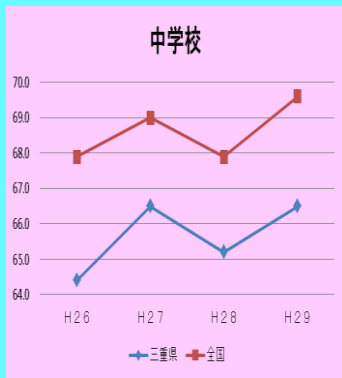
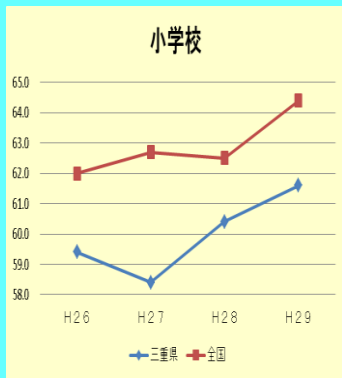
* グラフの縦軸の数値は3時間以上使用していると回答した子どもの割合を示します。



スマートフォン等の使用時間は、教科に関する調査の平均正答率と関連が見られます。本県では、スマートフォン等の使用時間について継続的に課題があるとして、県全体で「生活習慣・読書習慣チェックシート」の取組を進めてきました。今後、児童生徒の「自己管理能力」を育む観点からも、学校・家庭・地域が一体となった、生活習慣の改善に向けた取組が必要です。

【平日の学習時間（1時間以上）＜児童生徒質問紙調査＞】 【休日の学習時間（1時間以上）＜児童生徒質問紙調査＞】

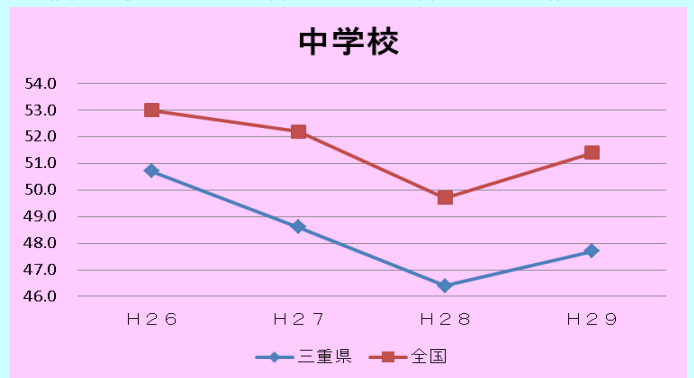
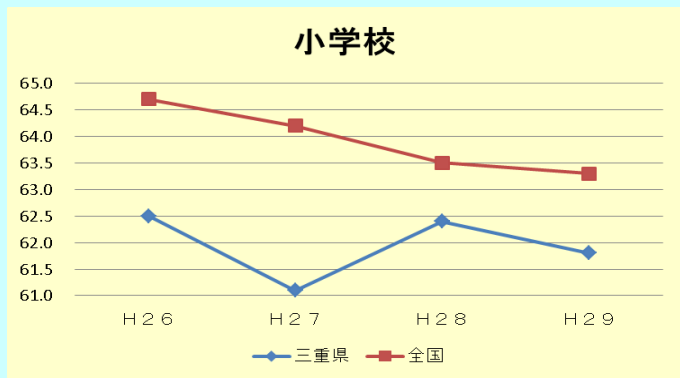
* グラフの縦軸の数値は1時間以上学習していると回答した子どもの割合を示します。



家での学習習慣（学習時間、復習等）は、引き続き課題が見られます。特に、休日の学習時間は継続的に全国平均を大きく下回る状況が続いています。児童生徒一人ひとりの学習内容の確かな理解と定着のために、家庭学習、補充学習を効果的に進めることが重要です。

【授業以外の読書時間（10分以上）＜児童生徒質問紙調査＞】

* グラフの縦軸の数値は10分以上読書をしていると回答した子どもの割合を示します。



自主的な読書の時間は、引き続き課題が見られます。図書館を活用した授業づくりや朝の読書（朝読）はもとより、大人自身が率先して読書を行い、読んだ本について語り合うことなどをおして家庭読書（家読）を促進し、子どもたちの生涯にわたる読書習慣を確立していきましょう。

第2章 教科に関する調査結果の分析【本冊：P20～】

子どもたちに見られる経年的な課題として、国語では「引用したり要約したりして書くこと」「根拠に基づいて自分の考えを書くこと」、算数・数学では「割合」「図形」につまずきがあります。

子どもたちがこれらのつまずきを克服できるよう、学習内容における各学年の系統性や子どものつまずきに対応した指導のポイントを示しました。授業改善につなげられるよう活用してください。

みえの子どもたちの経年的な課題（小中学校国語）

① 根拠に基づいて自分の考えを書くこと

② 引用したり要約したりして書くこと

●課題の見られた H29 全国学調の設問●

小学校国語 B³三 「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く

具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることに課題が見られました。

1 正答と主な誤答例の反応率

正答の条件

- ① [] の横山さんのように、【物語の一部】から言葉や文を取り上げて書いている。
- ② 取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書いている。
- ③ 60字以上、100字以内で書いている。

正答 【条件①②③を満たしているもの】 反応率：43.2%（全国との差：-0.6）

主な誤答例【条件①③を満たし、②を満たしていないもの】 反応率：26.2%（全国との差：+0.4）

2 過去の類題との経年比較

平成26年度出題 二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く

正答の条件

- ① 詩の内容や表現の仕方などについて共通点や相違点を取り上げ、自分の考えを書いている。
- ② 「たんぼぼ」と「まど・みちお」の両方の言葉を使って書いている。
- ③ 80字以上、100字以内で書いている。

正答 【3つの条件を満たしているもの】 反応率：43.1%（全国との差：-5.0）

主な誤答例【条件②を満たしていないもの】 反応率：13.2%（全国との差：-1.7）

中学校国語 B¹三 比喩を用いた表現に着目し、その表現について、「誰（何）の」、「どのような」様子なのかを明確にした上で、感じたことや考えたことを書く

文学的な文章を読み、表現の技法を理解した上で、それについて自分の考えをまとめることに課題が見られました。

1 正答と主な誤答例の反応率

正答の条件

- ① 〈心に残った一文〉に、【本の一部】から比喩を用いた表現が含まれる一文を抜き出して書いている。
- ② 〈感想〉に、①で取り上げた表現について、「誰（何）」の「どのような」様子なのかを明確にして書いている。
- ③ 〈感想〉に、①で取り上げた表現について、感じたことや考えたことを具体的に書いている。

正答 【条件①②③を満たしているもの】 反応率：38.2%（全国との差：-3.2）

主な誤答例【3つの条件のうちどれか1つのみ満たしているもの】 反応率：25.8%（全国との差：+2.1）

2 過去の類題との経年比較

平成25年度出題 文章を読んで感じたことや考えたことを具体的に書く

正答の条件

- ① 引用する部分をかぎ（「 」）でくくり、文章を書いている。
- ② 文章の内容を正しく理解した上で、感じたことや考えたことを具体的に書いている。
- ③ 八十字以上、百字以内で書いている。

正答 【3つの条件を満たしているもの】 反応率：64.0%（全国との差：-1.7）

主な誤答例【条件①を満たしていないもの】 反応率：18.3%（全国との差：+1.0）

●指導のポイント●

ポイント1

つまずき 根拠をもとになぜそのように考えたのか、自分の考えをまとめることができていない。

・各学年の指導事項を確認し、どのような言語活動で身に付けさせるか考えましょう。

	C読むこと	文学的な文章の解釈	自分の考えの形成及び交流
小学校	第1・2学年	場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。	文章の内容と自分の経験を結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。
	第3・4学年	場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。	文章を読んで考えたことを発表し合い、一人ひとりの感じ方について違いのあることに気付くこと。
	第5・6学年	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。	本や文章を読んで考えたことを発表し合い自分の考えを広げたり深めたりすること。
中学校	第1学年	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。	文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。
	第2学年	文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容に理解に役立てること。	文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。
	第3学年	文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。	文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。

(言語活動例) ・心に残ったお話紹介ポスターの作成 ・お気に入りの登場人物について紹介
 ・本の帯やポップの作成 ・テーマを決めてブックトーク

ポイント2

つまずき 「言葉や文を取り上げた＝自分の考えを書いた」と思っている。【第5・6学年】
 どのように書けば「具体的」なのかわかっていない。【第3・4学年】

- ・「事実(叙述)」は自分の考えの根拠となるものであり、そこからどう考えるかという「感想、意見」とは区別して書く必要があります。
- ・教員：「なぜそう思う？」児童生徒：「○ページの○行目に△△と書いてあるからです。」というやり取りで終わっていませんか。「その表現からなぜそう思うのか」までしっかり伝えられるよう指導しましょう。
- ・「どのように書けば『具体的』なのか」「なぜそう思ったのか」「どのようなことを考えたのか」など、原因や理由、事例などを挙げてわかりやすく説明することを指導しましょう。

ポイント3

つまずき 表現の工夫・技法の知識が身に付いていない。【第5・6学年、(中)第1学年】

- ・文学的文章の場合、比喩や反復などの表現の工夫を自分の考えの根拠として取り上げることがあります。文章を深く読み味わったり、その文章の良さを誰かに伝えたりするために、言語活動をとおして表現の工夫・技法について理解を深めていけるように指導しましょう。
- ・表現技法は知識として知っているだけではなく、実際に使えるように指導することも大切です。

●課題に対応したワークシート●

①根拠に基づいて自分の考えを書くこと

三重の学-Viva!!セット第8弾 「登場人物の生き方について考えよう」【第6学年】

三重の学-Viva!!セット第7弾 「根拠を明確にして魅力を伝えよう」【(中)第1学年】

②引用したり要約したりして書くこと

三重の学-Viva!!セット宿題用 「引用した文を使って書こう」【第4学年】

平成29年度作成 『おくのほそ道』の冒頭から『旅』について考えよう【(中)第3学年】

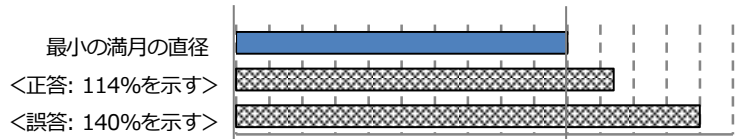
みえの子どもたちの経年的な課題 (小学校算数) ③ 割合

●課題の見られた H29 全国学調の設問●

小学校算数 B[5] (1)

「最小の満月の直径」の図に対して、「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選ぶ

示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断すること、身近なもの(月)に置き換えた基準量と割合を基に、比較量に近いものを判断し、その判断の理由を式や言葉を用いて記述することに課題が見られました。



- 1 正答と主な誤答例の反応率

正答	【114%を示す図を選択】	反応率: 63.2% (全国との差: -1.8)
主な誤答例	【140%を示す図を選択】	反応率: 21.6% (全国との差: +1.1)
- 2 過去の類題との経年比較

平成 22 年度出題	定価 1000 円の図に対して、定価の 30%引き後の値段を正しく表している図を選ぶ
正答	【700 円を示す図を選択】 反応率: 68.4% (全国との差: -0.6)
主な誤答例	【9970 円を示す図を選択】 反応率: 10.2% (全国との差: +1.2)

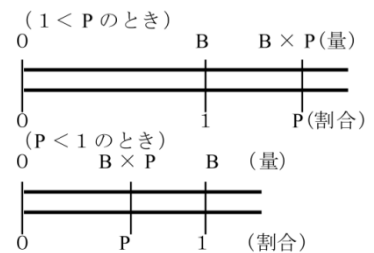
●指導のポイント●

ここでは、基準量と比較量の関係を表している図を判断することを取り上げ、「百分率と倍数の関係」や「〇%増、〇%減」が理解できていない子どもに対する指導のポイントを紹介します。

ポイント1

「〇の3つ分は□です」がわかっていない。式に表すことができない。【第2学年】

- ・〇をかいたり、テープ図を使ったり、具体物を用いたりして視覚的に捉えさせることが大切です。
- ・「1袋に〇個ずつ入ったみかん、3袋分は□個です。」などの文章による表現と式をセットで提示したり、文章(問題)から式、式から文章(問題)をつくる活動を取り入れたりして、式をつくることだけに終始しないことが大切です。学習が進んでも、具体的なものに置きかえて考えられるようにしましょう。
- ・第3学年「倍数」の学習では、「〇の3つ分」⇒「〇の3倍」、第5学年の「倍数」の学習では「〇の0.3倍」へと思考をスムーズに移行させていきましょう。
- ・小数倍につまずきのある子どもたちの中には、「かけ算の答えはもとの数よりも大きくなる。」という誤った考え方を持っている場合が考えられます。整数倍の考え方と同様に計算することができることを繰り返し指導することが大切です。



ポイント2

「20%」⇒「0.2(倍)」がわかっていない。(百分率と倍数の関係)【第5学年】

- ・20(%)を割合ではなく、量として捉えている間違いが考えられます。基準量の大きさを1として、それに対する割合を百分率で表したとき、基準量の半分の量が50%になることや、基準量を10等分すれば1つ分の量が10%になることを、数直線を使って表すなどの活動を取り入れていきましょう。
- ・「小数倍、分数倍⇔百分率」の相互に変換する活動を繰り返し行い、定着を図ることも大切です。

ポイント3

「20%」「20%増」「20%減(20%引き)」の違いがわかっていない。【第5学年】

- ・次の考え方を定着させることが大切です。その際、テープ図を利用して理解を深めましょう。
 - 20% ⇒ □の0.2倍 ⇒ □×0.2
 - 20%増 ⇒ もとの数を1と見たとき「1+0.2」となる ⇒ □の1.2倍 ⇒ □×1.2
 - 20%引き ⇒ もとの数を1と見たとき「1-0.2」となる ⇒ □の0.8倍 ⇒ □×0.8

●課題に対応したワークシート●

- ・三重の学-Viva!!セット宿題用 「これまでの学習を確認しよう①・②」【第5学年】
「割合」【第6学年】

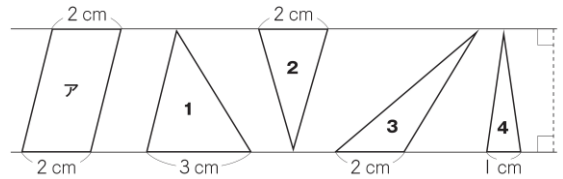
みえの子どもたちの経年的な課題 (小学校算数) ④ 図形

●課題の見られた H29 全国学調の設問●

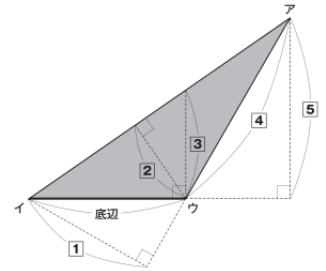
小学校算数A [5]

高さが等しい平行四辺形と三角形について、平行四辺形の面積の、半分の面積の三角形を選ぶ

高さが等しい平行四辺形と三角形について、平行四辺形の面積の、半分の面積の三角形を選ぶとき、平行四辺形の底辺と長さが等しい三角形を見つけることに課題が見られました。



- 1 正答と主な誤答例の反応率
 正答 【2, 3を選択】 反応率：65.3% (全国との差：-2.3)
 主な誤答例【2のみを選択】 反応率：10.7% (全国との差：+1.4)
- 2 過去の類題との経年比較
 平成28年度A [5]出題 底辺に対して頂点が三角形の外にある三角形の高さを選ぶ
 正答 【5を選択】 反応率：83.9% (全国との差：+1.9)
 主な誤答例【4を選択】 反応率：5.0% (全国との差：+0.3)
 【3を選択】 反応率：5.8% (全国との差：-1.6)



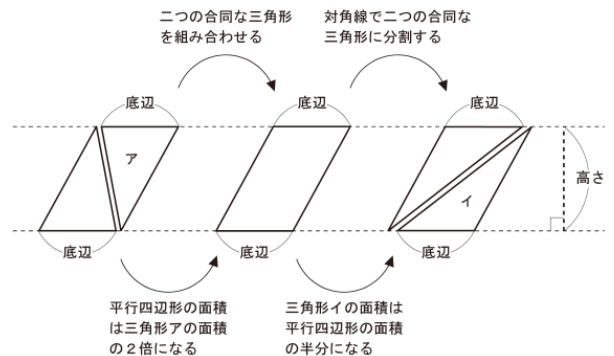
●指導のポイント●

ここでは、「底辺の長さと高さがそれぞれ等しい平行四辺形と三角形の面積の関係（面積が半分）」、「三角形の面積を考えると、頂点の位置が外にある三角形の高さ」が理解できていない子どもに対する指導のポイントを紹介します。

ポイント1

【つまり】 底辺の長さと高さがそれぞれ等しい平行四辺形と三角形の面積の関係（面積が半分）が理解できていない。【第5学年】

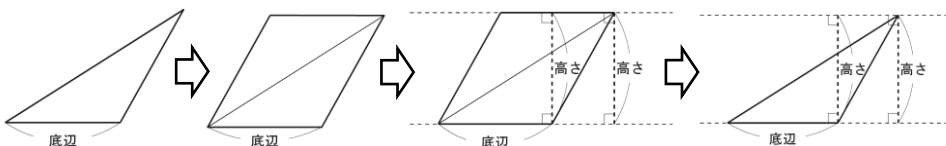
- 底辺の長さと高さがそれぞれ等しい平行四辺形と三角形では、図形の向きや形によらず、三角形の面積は平行四辺形の面積の半分であることを、具体物を使って、平行四辺形を2つの三角形に分割するなどの活動を通じ、理解できるようにすることが大切です。
- 理解できるように、平行四辺形の面積から三角形の面積を求めることや、平行四辺形の面積の公式と三角形の面積の公式を比較して三角形の面積の公式の「 $\div 2$ 」の意味を確認する活動を取り入れることも考えられます。



ポイント2

【つまり】 底辺に対して、頂点の位置が外にある三角形について、高さをどこにとるか理解できていない。【第5学年】

- 三角形の高さについて、三角形を2つ組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と関連付けるなどして、理解できるようにすることが大切です。
- 三角形の高さが、底辺と向かい合った頂点から底辺の延長線上に垂直に引いた線分の長さになっていることを確かめる場面を設けることが大切です。



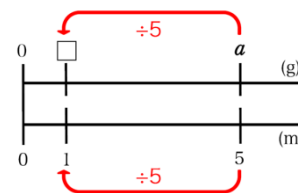
●課題に対応したワークシート●

- 三重の学-Viva!!セット宿題用 「同じ面積なのは・・・？」【第6学年】

みえの子どもたちの経年的な課題（中学校数学） ⑤ 割合

●課題の見られた H29 全国学調の設問●

中学校数学A② (1) 5 mの重さが a g の針金の 1 mの重さを、 a g を用いた式で表す



数量の関係を捉え、その関係について文字式で表すことに課題が見られました。

1	正答と主な誤答例の反応率	
	正答 【 $a/5$ ($a \div 5$) と解答しているもの】	反応率：55.9% (全国との差：-0.4)
	主な誤答例 【 $5/a$ ($5 \div a$) と解答しているもの】	反応率：13.8% (全国との差：+0.1)
2	過去の類題との経年比較	
	平成25年度A②(3)出題 a mの重さが b g の針金の 1 mの重さを、 a, b を用いた式で表す。	
	正答 【 a/b ($a \div b$) と解答しているもの】	反応率：31.9% (全国との差：-0.4)
	主な誤答例 【 b/a ($b \div a$) と解答しているもの】	反応率：12.7% (全国との差：-0.1)

●指導のポイント●

ここでは、数量の関係や法則などを文字式で表すことができない生徒に対する指導のポイントを紹介します。

ポイント1

つまずき どのように式を立てればよいかわからない。【第1学年】

- ・針金の重さ「 a g」を具体的な数に置き換えて針金の重さと長さの関係を捉えさせることが大切です。
例えば、 $a = 100$ とすると、5 mのとき 100 g であることから、10 mのとき 200 g であることなどを確認することが考えられます。
- ・針金 1 mあたりの重さが言葉を使った式「(針金の重さ) \div (針金の長さ)」で表されることを見だし、2つの数量の関係を文字式で表すことができるようにしましょう。また、針金 1 g あたりの長さについて文字式で表す活動を取り入れながら、文字に対する抵抗感を和らげることも大切です。

ポイント2

つまずき わる数とわるる数を逆にして、数量の大小関係を捉えることができない。【小学校第5学年】

- ・数量の関係や法則などを数や言葉の式、 \square 、 \triangle などを用いた式に表してその意味を読み取ったり、数を当てはめて調べたりすることが大切です。
例えば、[整数の除法] 2 mで 200 円の布は、1 mではいくらになるか \Rightarrow 式 $200 \div 2$
[小数の除法] 2.5 mで 200 円の布は、1 mではいくらになるか \Rightarrow 式 $200 \div 2.5$
- ・除数が小数の場合、1に当たる大きさ(基準にする大きさ)を求めることに課題が見られます。
公式や言葉の式だけでなく、数直線や図などを用いたり具体的な場面に当てはめたりしてわかりやすく提示することが大切です。基準量を「1」とすると、比較量はそのどれぐらいに当たるかを図などで視覚的に捉えさせることも大切です。また、整数値だけでなく、小数や分数の値も整数と同じように当てはめることができるようにし、数の範囲を拡張して考えることができるようにしましょう。

ポイント3

つまずき 二つの数量関係(針金の重さと長さ)は比例することを捉えていない。【小学校第5学年】

- ・小数の乗法及び除法、三角形や平行四辺形の面積の公式、百分率など割合に関する内容などを取り上げる際、表を用いて伴って変わる2つの数量の関係を考察することができるようにすることが大切です。
例えば、「階段1段の高さが 15 cmのときの階段の段数と全体の高さ」、「縦の長さが 6 cmと決まっている場合の長方形の横の長さ」と面積」など、表に数量を当てはめながら調べていくことを指導する中で、2つの数量の対応や変化の仕方の特徴を見だすことができるようにします。また、的確に捉えられるようにするために、見いだした特徴やきまりを「横の長さが 2 倍、3 倍、4 倍、・・・になれば、面積も 2 倍、3 倍、4 倍、・・・になる」などのように言葉を用いて表すようにすることも大切です。

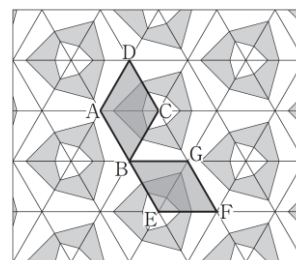
●課題に対応したワークシート●

- ・三重の学-Viva!!セット宿題用 「これまでの学習を確認しよう②」【第1学年】

みえの子どもたちの経年的な課題（中学校数学） ⑥ 図形

●課題の見られた H29 全国学調の設問●

中学校数学 B 1 (2) 四角形 ABCD の模様が 1 回の回転移動によって四角形 GBEF の模様と重なるとき、どのような回転移動になるかを説明する



数量や図形に着目して見いだした事象の特徴を数学的に表現することに課題が見られました。

- 1 正答と主な誤答例の反応率
 正答 【点 B を中心に時計回りに 120° 回転移動させる】 反応率：12.9%（全国との差： -1.0 ）
 主な誤答例【回転の方向や回転角の大きさについて捉えられなかった】 反応率：19.3%（全国との差： -0.6 ）
- 2 過去の類題との経年比較
 平成 26 年度 A 4 (3) 出題 与えられた角が回転移動した後の角を選ぶ
 正答 【点 C を中心に反時計回りに 80° 回転移動させた角を選択】 反応率：42.7%（全国との差： $+0.2$ ）
 主な誤答例【回転移動の特徴を捉えられず、角の大きさから誤った角を選択】 反応率：49.6%（全国との差： -0.3 ）

●指導のポイント●

ここでは、「回転の中心の位置」、「回転の方向や回転角の大きさ」を捉えることができない、「数学的な用語を用いて説明すること」ができない生徒に対する指導のポイントを紹介します。

ポイント 1

つまずき 回転の中心の位置、回転の方向、回転角の大きさを捉えることができない。【第 1 学年】

- ・図形を紙で作って動かしたり、コンピュータを利用したりするなどの観察、操作や実験を取り入れ、図形の移動を視覚的に理解できるように指導しましょう。
- ・実際に万華鏡を観察し、万華鏡の模様を図形間の関係として捉えて考察する活動を取り入れてみましょう。その際、色画用紙や OHP シートなどで作成された教具を用いて操作する活動を取り入れることも考えられます。
- ・図形の移動をとおして、移動前と移動後の直線の位置関係、対応する辺や角の相等関係、図形の合同などに着目し、図形の性質を見いだしたり、図形の見方を豊かにしたりすることが大切です。生徒が図形を観察・操作することをとおし、考察する場面をつくりましょう。

ポイント 2

つまずき 移動前と移動後の 2 つの四角形から、辺 AB が辺 EB に重なると捉えている。【第 1 学年】

- ・移動前と移動後の 2 つの四角形を考察した際、点 B を中心として時計回りに 180° 回転移動し、辺 AB が辺 EB に重なると捉えていることが考えられます。そのため、2 つの図形のうち一方を移動して重ねることを考えたり、1 つの図形を移動する前と後で比較したりして、図形の性質を捉えられるよう指導しましょう。
- ・包装紙やタイルなど、身の回りにある合同な図形の敷き詰め模様を提示し、その中の 2 つの図形がどのような移動によって重なるかについて調べ、表現させることも大切です。

ポイント 3

つまずき 回転移動を説明する場面において、回転の中心の位置・回転の方向・回転角の大きさの 3 つを捉え、説明することができない。【第 1 学年】

- ・回転移動を正しく説明するためには、回転の中心の位置・回転の方向・回転角の大きさの 3 つが必要であることを、実際に回転移動した図形をかく活動を通じて実感させることが重要です。
- ・表現する際は、「四角形 ABCD を①点 B を回転の中心として、②時計回りに③ 120° の回転移動をした図形は、四角形 GBEF と重なる。」のように示す必要があります。数学的に表現できるよう、書く活動や発表する活動を設定していきましょう。

●課題に対応したワークシート●

平成 26 年度作成 「三角形の移動を考えよう」【第 1 学年】

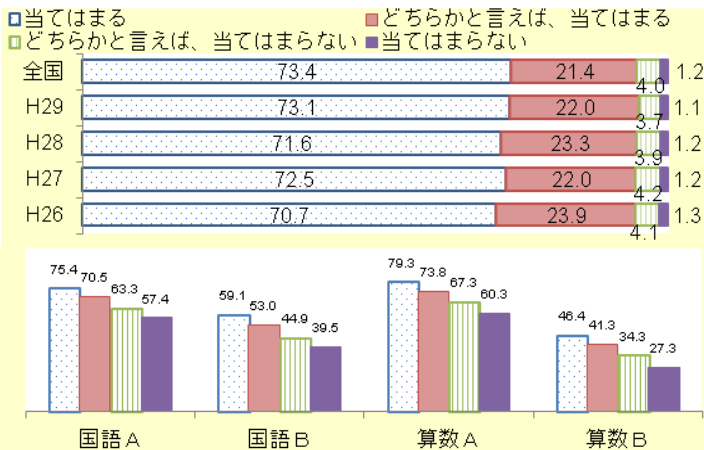
第3章 質問紙調査結果の分析 [本冊：P32～]

子どもたちの達成感

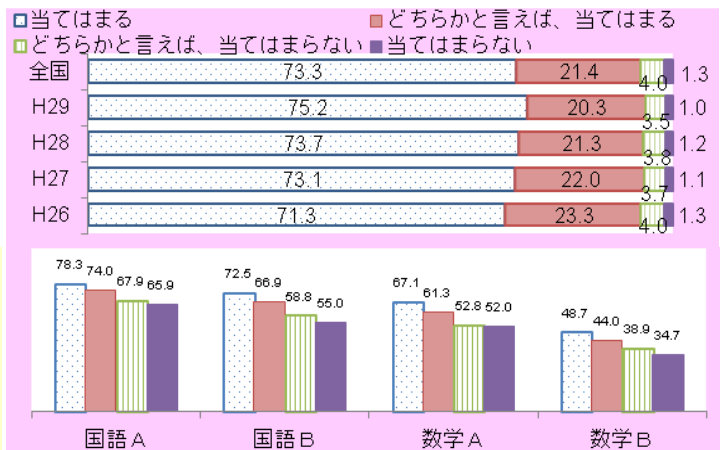
「やればできる」という達成感が実感できる教育活動を！

【児童生徒質問紙】ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか

小学校



中学校



※上段の帯グラフは、質問に対する回答別の割合を示します。下段の棒グラフは、質問に対する回答別の平均正答率を示します。

「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」の質問に対し、肯定的に回答した児童生徒の割合は増加傾向にあります。また、こうした達成感は平均正答率との関連が見られます。

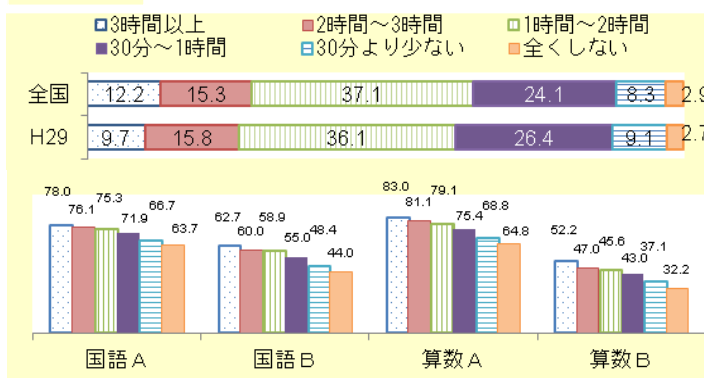
各学校においては、少人数指導による個に応じた指導や補充学習等による学力保障を進め、子どもたちの「わからない」「できない」を「わかった」「できた」という実感につなげることが大切です。

子どもたちの学習習慣

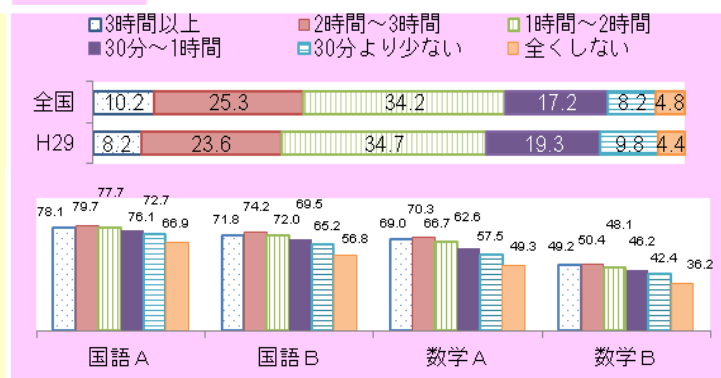
家庭における学習時間に課題が見られます

【児童生徒質問紙】学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

小学校

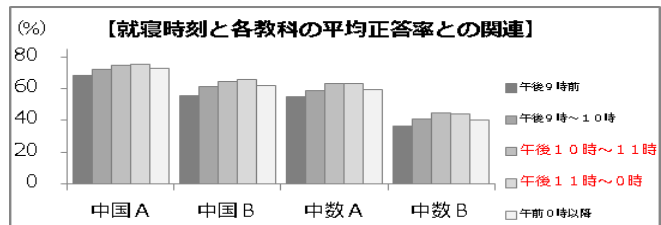
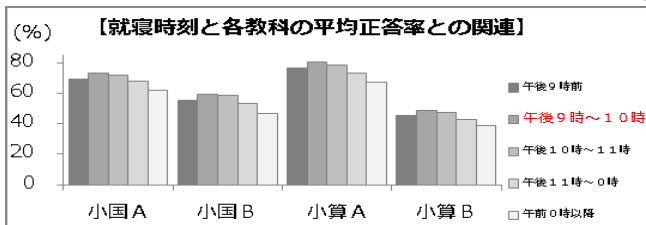


中学校



「1時間以上勉強している」児童生徒の割合は平日・休日ともに全国より低く、特に、休日の学習時間は継続的に全国平均を大きく下回る状況が続いています。また、各質問項目を回答別に平均正答率で比較してみると、平日・休日ともに、「1時間以上勉強している」と回答した児童生徒の平均正答率は、ほとんどの教科で全国の平均正答率を上回っています。なお、中学校では、学習時間が「2時間以上、3時間未満」と回答した生徒の平均正答率が全ての教科で最も高くなっています。「3時間以上」と回答した生徒は睡眠時間が短く、翌日の授業に集中できていないことが考えられます。睡眠時間を確保しつつ、授業の復習を含めて学習の時間が取れるよう、計画を立てることが大切です。

【参考 平成 28 年度全国学調 児童生徒質問紙調査結果から】

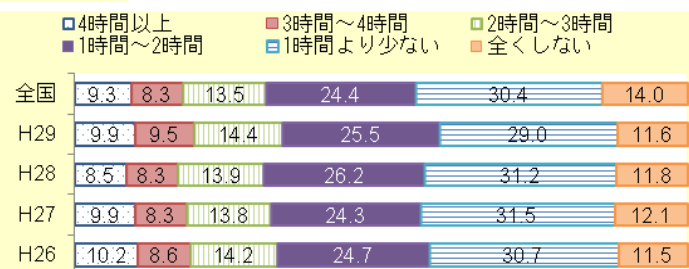


子どもたちの生活習慣

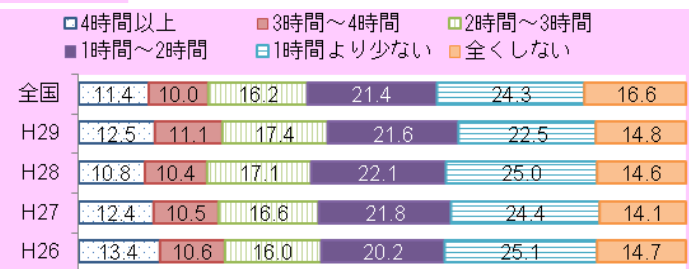
「ルールを決めて守る」により、自己管理能力を育むことが重要です！

【児童生徒質問紙】 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

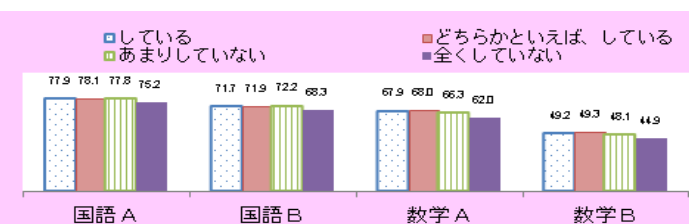
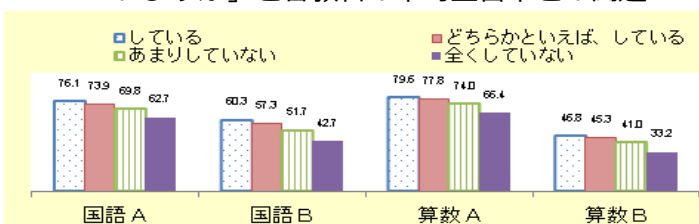
小学校



中学校



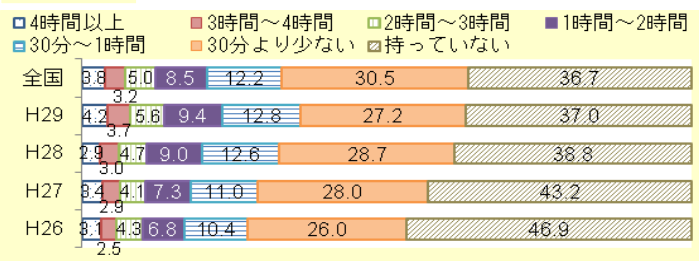
<参考> 【児童生徒質問紙：新規項目】「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか」と各教科の平均正答率との関連



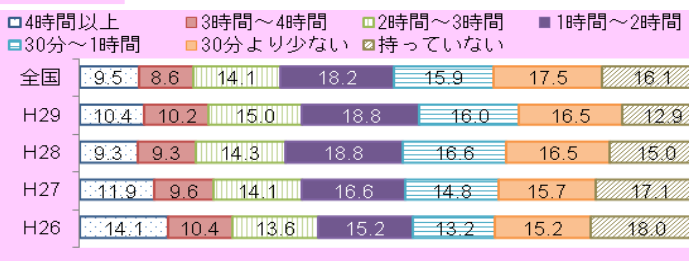
テレビゲームを3時間以上する児童生徒の割合は、全国平均よりも高い状況です。特に小学校では、ゲームをする時間などのルールが決められている児童の平均正答率は高い状況にあります。テレビ、ゲーム、スマホの使用等について家庭で話し合ってルールを決めて守ることが、子どもの自己管理能力を育むことにつながります。

【児童生徒質問紙】 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

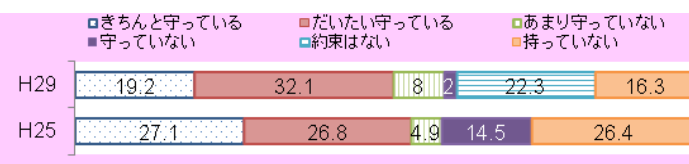
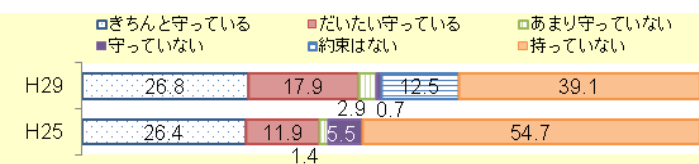
小学校



中学校



<参考> 【児童生徒質問紙：新規項目】「携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」の回答状況



*平成26、27、28年度は同様の質問項目がありませんでした。

平日のスマホ等で通話やメール、インターネットを3時間以上する児童生徒の割合は、昨年度までは、継続的に改善が見られましたが、本年度は、全国との差、本県の割合ともに下降に転じています。

また、「携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」の回答状況を見ると、「（あまり）守っていない」と回答した割合は、平成25年度と比較すると改善しています。一方で、「約束はない」と回答した割合が、児童では12.5%、生徒では22.3%を占めています。

今後、スマホ等の利用に関わる取組を、子ども（児童会、生徒会）、家庭（PTA）とともに進めていくことが大切です。

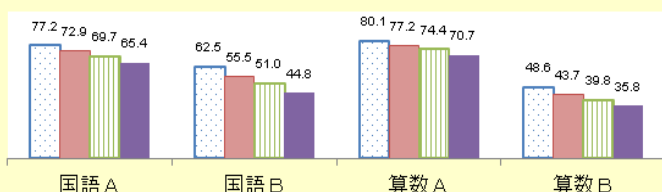
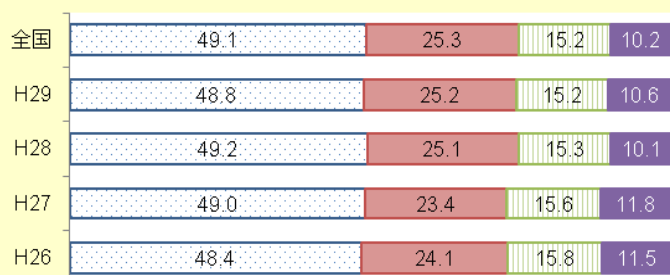
子どもたちの読書習慣

子どもたちの生涯にわたる読書習慣の確立を！

【児童生徒質問紙】読書は好きですか

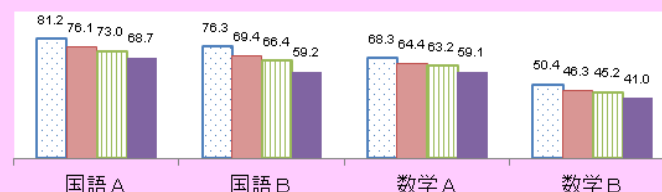
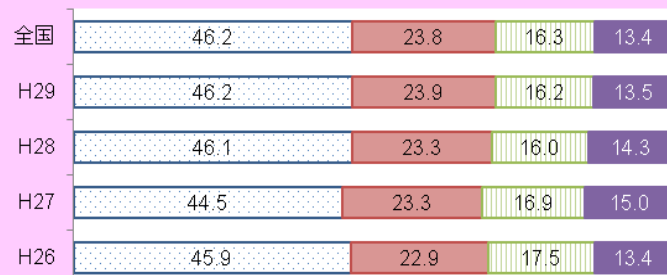
小学校

□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる
□どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



中学校

□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる
□どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



「読書は好きですか」との質問に対して肯定的な回答をした児童生徒ほど、平均正答率が高い傾向が見られます。読書は、知的活動（論理や思考）やコミュニケーション、感性・情緒の基盤をなす言語に関する能力を育むうえで、欠くことのできないものです。図書館を活用した授業づくりや朝の読書（朝読）はもとより、家庭読書（家読）^{うちどく}を促進し、子どもたちの生涯にわたる読書習慣を確立していきましょう。

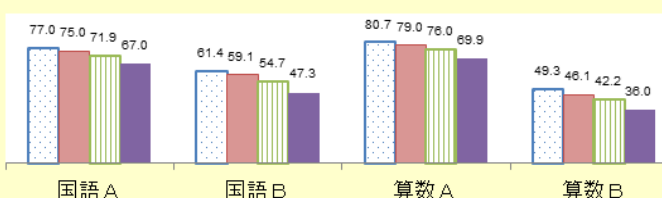
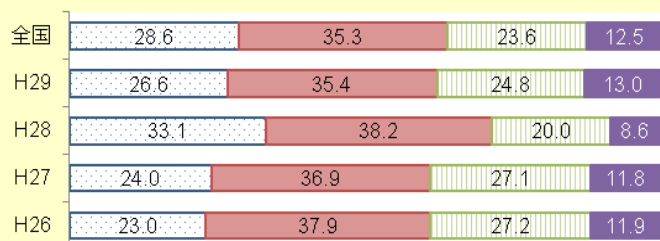
地域との関わり

学校・家庭・地域の連携の質を高めていくことが重要です！

【児童生徒質問紙】地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか

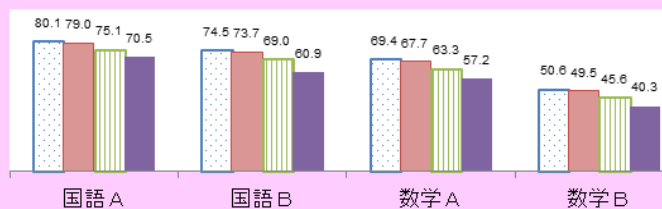
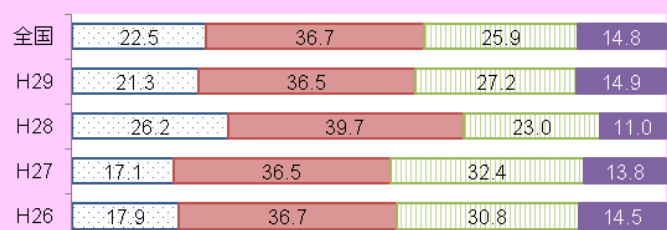
小学校

□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる
□どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



中学校

□当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる
□どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」と肯定的に回答した児童生徒ほど、平均正答率が高い傾向が見られます。

地域との関わりに関する他の調査項目（児童生徒の地域社会などでのボランティア活動への参加、PTA や地域の人などの学校の諸活動へのボランティア参加）は、全国と比べても低く、子どもたちも大人も地域への主体的な関わりに課題があります。子どもたちは大人の姿を見て育ちます。多くの大人が主体的・積極的に学校や地域へ関わっていくような質の高まりが重要です。

第4章 県内の取組【本冊：P43～】

紀宝町立井田小学校

子どものつまづきを授業に活かす ～分析を通して～

○設問分析と改善方策

本校では、夏休みに分析のための校内研修を設定し、全国学調やみえスタディ・チェックの自校採点結果をもとに、全教員で授業実践に活かすことを視点に研修を行っています。分析したことをただ単に共有するのではなく、設問ごとに今教えている学年のどの学習内容と関連しているかを把握し、具体的な改善方策を検討します。

【8月】校内研修にて設問ごとの出題の趣旨を把握→分析
→授業改善に向けた具体的な取組を検討(支援事務所参加)

【9月】児童生徒質問紙の結果を分析し、生活習慣・学習習慣の改善について検討

【10月】具体的な改善の取組について、校内研修の中で実践を交流

○家庭学習の充実

	低学年	中学年	高学年
しっかり	【学習したことの復習や新出漢字の練習など基本的な学習】 □復習プリント □ドリル等の問題 □漢字の練習 □本読み(音読) □日記 等。		
じっくり	井田小学校では、 “授業進度” “理解度” “子どもの実態” “つきたい力” 等を踏まえ、家庭学習用の課題を出しています。	【ジャンプ問題や記述式の課題など発展的な学習】 □良問・難問な課題(ジャンプ課題) □作文 □読書 □ワークシート □学習のふりかえり 等。	
確実に		【自主学習(自学)などの自己完結型の学習】 □学習課題の設定も含めた自己学習 ・学習する内容や課題を自分で決めて学習する。 ・学習のまとめ方を自分で考える自己学習。 ・学習課題は設定されているが、その課題解決の方法を自分で決め、学習する。	

種別	分析内容	授業改善への具体的とり組み
前、適切な式を立て	示された条件を基に、適切な式を立てることができていた。	
既知、数を変更したがり立つことを、図でできる	示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを図に表現することができた。	(3)児童自らが数量の関係を見出し、見出した関係がほかの場合でも成り立つかどうかの予想や確かめを友だちやグループのやり方を覗き合い、理解するなかで、自分で表現する力を身につけていけるよう活動を設定する。
この2つの数量の関係をそのきまりを記述で	模範例がなく、文章化が難しいよう。なにかしらのきまりを見出すことができていたが、それを明確に表現することができていない。	
るために、示された数値を選び、その求	無回答がなく、どの子も考えて取り組んでいけることが分かる。計算途中で問題を終えていたり、計算間違いでのミスが	何を求めているのか、数値がもっている意味、問題全体の意味を子ども問題に取り組みが重要

家庭学習のしおりを配付し、『学校と家庭とが「子どもの学び」をとおして協力し合うことが子どもたちの学び力と身体の健康を育み、子どもたちは夢に向かって進んでいける』ことをメッセージとして呼びかけました。家庭学習が授業に戻っていくように、発達段階に合わせた「しっかり」「じっくり」「確実に」のコースを設定し、高学年までに「予定を立て計画的に学習する力をつける」ことを目標に取組んでいます。また、その検証・検討を行い、家庭学習の充実を図っています。

津市立安濃小学校

基礎学力の定着 ～あのうっ子タイムとチャレンジ学習～

○あのうっ子タイム(10分間の取組)

- ・週2回(火・木)の朝学習で既習内容についての復習プリントを行い、学習内容の定着を図っています。また、地域のボランティアの方が読書(月・水・金)の時間に読み聞かせを実施しています。
- ・学期に1回、復習プリントから問題を集めたテスト(計算・文章題を含んだ20問)を行い、結果を分析し、定着状況の把握と今後の対策に生かしています。学習の進度や子どもの実態に合わせて教員が問題を作成することで、一人ひとりに対応した支援ができます。テストの結果を分析し、理解が十分でなかった問題については、放課後の補充学習等により課題の克服につなげています。

○チャレンジ学習(自主勉強として復習)

- ・宿題の意味を理解させ、教員がチェックして間違った問題をきちんと直す習慣を付けることで基礎学力・学習習慣の定着につなげています。基礎学力の定着は、学校の授業だけでなく、毎日の家庭学習による積み重ねが大きいため「家庭学習の手引き」を家庭に配付し、協力を呼びかけています。

伊賀市立柘植中学校

地域と連携した補充学習の取組

○地域と連携した補充学習

子どもたちの学力向上を目指し、いがまち人権センターと連携しながら、火・金の週2回、夜間に学習会を行っています。講師は主にセンター職員と地域の方で、教員も関わっています。教科の学習だけでなく、学校では見過ごしがちな社会のマナーなどを指導してもらう良い機会にもなっています。

○「スタディプロジェクト」の取組

月曜日の放課後30分及び長期休業中に、希望者や教員から参加を促された生徒を対象に補充学習を行っています。学習教材は自分で準備して取り組むことを基本としていますが、生徒の実態に応じて、教員が個々の能力に合わせたプリント等を準備することもあります。

土曜授業では、学-Viva!!セットや学調・みえスタの過去問等に取り組み、問題の答え方や問題に対する考え方を学んでいます。

第5章 「みえの学力向上県民運動」主な関連指標【本冊：P53～】

平成26・27・28・29年度の推移一覧

小学校における三重県の割合や全国との差の経年推移

※表中のA・B・Cは、「全国との差」の変位を表し、Aは「改善・上昇」を、Bは「変動なし」、Cは「下降」を表す。
 ※表中の+・-は、三重県の割合の変位を表し、+は「改善・上昇」を、-は「下降」を表す。
 ※表中の○は、上記に示した「A・B・C」及び「+・-」の数値が±5ポイント以上離れていることを表す。
 ※表中の網かけは、当該年度に同じ質問紙項目がなかったものである。

＜児童質問紙＞

質問紙 番号	質問項目		H 2 6	H26→H27	H 2 7	H27→H28	H 2 8	H28→H29	H 2 9
①	基本的生活習慣の状況 「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」の平均値	三重県	88.3		88.3		89.1		88.6
		全国	88.7	B	88.7	A	88.8	C	88.8
		全国との差	-0.4		-0.4		0.3		-0.2
	(1) 朝食を毎日食べている	三重県	95.7	B	95.3	A	95.7	C	95.4
		全国	96.0		95.6		95.5		95.4
		全国との差	-0.3		-0.3		0.2		0.0
	(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ている	三重県	78.3	A	79.0	A	80.2	C	79.3
		全国	79.2		79.5		80.1		79.8
		全国との差	-0.9		-0.5		0.1		-0.5
	(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きている	三重県	90.9	C	90.7	A	91.4	C	91.1
		全国	90.9		91.0		90.8		91.2
		全国との差	0.0		-0.3		0.6		-0.1
②	子どもたちの自尊感情の状況 「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦する」「自分には、よいところがあると思う」の平均値	三重県	81.9	C	82.1	A	82.7	C	83.5
		全国	81.9		82.4		82.3		83.4
		全国との差	0.0		-0.3		0.4		0.1
	(4) ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある	三重県	94.6	C	94.5	A	94.9	C	95.1
		全国	94.4		94.5		94.4		94.8
		全国との差	0.2		0.0		0.5		0.3
	(5) 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦する	三重県	75.4	C	76.6	A	77.6	C	78.1
		全国	75.1		76.4		76.1		77.4
		全国との差	0.3		0.2		1.5		0.7
	(6) 自分には、よいところがあると思う	三重県	75.7	C	75.1	A	75.5	A	77.4
		全国	76.1		76.4		76.3		77.9
		全国との差	-0.4		-1.3		-0.8		-0.5
③ (10) 将来の夢や目標を持っている	三重県	85.8	C	85.3	C	83.7	A	84.4	
	全国	86.7		86.5		85.3		85.9	
	全国との差	-0.9		-1.2		-1.6		-1.5	
④	平日の子どもたちのテレビ・テレビゲーム等の使用状況 「平日のテレビ等の視聴（3時間以上）」「平日のテレビゲーム等の使用（3時間以上）」の平均値	三重県	28.6	A	27.0	A	24.6	C	26.6
		全国	27.5		26.6		24.4		25.2
		全国との差	1.1		0.4		0.2		1.4
	(12) 平日のテレビ等の視聴（3時間以上）	三重県	38.4	A	35.8	A	32.4	C	33.7
		全国	38.0		36.1		32.8		32.7
		全国との差	0.4		-0.3		-0.4		1.0
	(13) 平日のテレビゲーム等の使用（スマホのゲームを含む）（3時間以上）	三重県	18.8	A	18.2	A	16.8	C	19.4
		全国	17.0		17.0		16.0		17.6
		全国との差	1.8		1.2		0.8		1.8
	⑤ (14) 平日のスマホの通話やメール、インターネットの使用（3時間以上）	三重県	5.6	B	6.3	A	5.9	C	7.9
		全国	5.0		5.7		5.8		7.0
		全国との差	0.6		0.6		0.1		0.9
⑥ (15) 平日の学習時間（1時間以上）	三重県	59.4	C	58.4	A	60.4	C	61.6	
	全国	62.0		62.7		62.5		64.4	
	全国との差	-2.6		-4.3		-2.1		-2.8	
⑦ (16) 休みの日の学習時間（1時間以上）	三重県	46.9	C	45.8	A	49.0	C	47.9	
	全国	55.9		56.7		57.0		57.3	
	全国との差	-9.0		-10.9		-8.0		-9.4	
⑧ (18) 授業時間以外の読書時間（平日10分以上）	三重県	62.5	C	61.1	A	62.4	C	61.8	
	全国	64.7		64.2		63.5		63.3	
	全国との差	-2.2		-3.1		-1.1		-1.5	
⑨ (24) 家の人（兄弟姉妹は含まない）と学校での出来事について話をする	三重県	78.9	A	78.6	C	78.2	A	77.6	
	全国	80.4		79.5		79.2		78.1	
	全国との差	-1.5		-0.9		-1.0		-0.5	
⑩ 削除	三重県					82.5			
	全国					82.8			
	全国との差					-0.3			
⑪ (29) 家で、自分で計画を立てて勉強している	三重県	59.4	C	60.5	A	61.7	C	62.8	
	全国	61.0		62.8		62.2		64.5	
	全国との差	-1.6		-2.3		-0.5		-1.7	
⑫ (32) 家で、学校の授業の復習をしている	三重県	48.7	A	50.1	A	54.2	C	51.1	
	全国	54.0		54.5		55.2		53.8	
	全国との差	-5.3		-4.4		-1.0		-2.7	
⑬ (33) 学校に行くのが楽しい	三重県	86.6	C	86.9	A	86.9	A	87.1	
	全国	86.6		87.0		86.3		86.3	
	全国との差	0.0		-0.1		0.6		0.8	

質問紙番号	質問項目		H 2 6	H26-H27	H 2 7	H27-H28	H 2 8	H28-H29	H 2 9
⑭ (38)	先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う	三重県	80.1				83.8		87.2
		全国	79.7				82.6	B	86.0
		全国との差	0.4				1.2		1.2
⑮ (39)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる	三重県					87.8		87.7
		全国					84.8	C	85.1
		全国との差					3.0		2.6
⑯ (40)	地域行事への参加	三重県	73.2		72.0		73.1		68.3
		全国	68.0	C	66.9	A	67.9	A	62.6
		全国との差	5.2		5.1		5.2		5.7
⑰ (41)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある	三重県	60.9		60.9		71.3		62.0
		全国	62.9	C	63.9	A	70.6	C	63.9
		全国との差	-2.0		-3.0		0.7		-1.9
⑱ (43)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがある	三重県					30.8		30.3
		全国					36.2	A	35.4
		全国との差					-5.4		-5.1
⑲	子どもたちの規範意識の状況 「学校のきまりを守っている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」の平均値	三重県	93.5		93.7		94.4		94.0
		全国	93.6	A	93.7	A	94.0	C	93.7
		全国との差	-0.1		0.0		0.4		0.3
	(49) 学校のきまりを守っている	三重県	90.4		91.0		91.8		92.8
		全国	90.5	B	91.1	A	91.5	C	92.6
		全国との差	-0.1		-0.1		0.3		0.2
	(52) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	三重県	96.3		96.5		96.8		96.4
		全国	96.4	A	96.2	C	96.6	A	96.1
		全国との差	-0.1		0.3		0.2		0.3
	(53) 人の役に立つ人間になりたいと思う	三重県	93.7		93.7		94.5		92.8
		全国	94.0	A	93.7	A	93.8	C	92.5
		全国との差	-0.3		0.0		0.7		0.3
⑳ (58)	主体的・協働的な授業に取り組んでいる 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	三重県			71.0		75.0		72.8
		全国			74.2	A	75.7	C	75.1
		全国との差			-3.2		-0.7		-2.3
㉑ (61)	授業の中で目標（めあて・ねらい）の提示 ※H27までは「授業のはじめに」	三重県	75.7		83.0		88.8		89.4
		全国	82.0	A	86.3	A	87.6	B	88.2
		全国との差	-6.3		-3.3		1.2		1.2
㉒ (62)	授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定	三重県	67.1		71.4		76.9		78.8
		全国	71.9	A	75.3	A	76.1	A	76.2
		全国との差	-4.8		-3.9		0.8		2.6
㉓ (71)	国語の授業の内容がよく分かる	三重県	79.7		82.2		81.4		83.4
		全国	80.1	A	82.0	A	80.7	A	82.2
		全国との差	-0.4		0.2		0.7		1.2
㉔ (80)	算数の授業の内容がよく分かる	三重県	79.0		81.3		82.6		83.3
		全国	79.6	A	81.0	A	80.2	A	80.6
		全国との差	-0.6		0.3		2.4		2.7
㉕	授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つ ※国語、算数の平均値	三重県	87.3		89.0		90.3		89.0
		全国	88.2	A	89.5	A	89.6	C	88.5
		全国との差	-0.9		-0.5		0.7		0.5
	(73) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	三重県	86.4		88.0		90.0		88.7
		全国	87.4	A	88.6	A	89.2	B	87.9
		全国との差	-1.0		-0.6		0.8		0.8
(84) 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	三重県	88.2		90.0		90.5		89.3	
	全国	89.0	A	90.3	A	89.9	C	89.1	
	全国との差	-0.8		-0.3		0.6		0.2	

《学校質問紙》

質問紙番号	質問項目		H 2 6	H26-H27	H 2 7	H27-H28	H 2 8	H28-H29	H 2 9
㉖ (22)	対象児童に対して、前年度に、図書館資料を活用した授業を計画的に実施（学期に数回以上） ※H28までは「学校図書館を活用」	三重県	77.2		81.8		83.1		82.8
		全国	80.5	A	82.6	A	83.0	C	83.9
		全国との差	-3.3		-0.8		0.1		-1.1
㉗ (23)	対象児童に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施（週に2回以上）	三重県	18.9		22.7		21.8		25.6
		全国	17.5	A	17.7	C	17.9	A	19.0
		全国との差	1.4		5.0		3.9		6.6
㉘ (33)	授業の中で目標（めあて・ねらい）の提示 ※H27までは「授業のはじめに」	三重県	91.3		97.8		98.7		98.8
		全国	96.9	A	98.1	A	98.8	C	99.0
		全国との差	-5.6		-0.3		-0.1		-0.2
㉙ (34)	授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定	三重県	76.3		89.9		93.0		95.3
		全国	91.6	A	93.9	A	94.9	A	95.4
		全国との差	-15.3		-4.0		-1.9		-0.1
⑩ (51)	学校生活の中で子どもたち一人ひとりのよい点や可能性を見つけ、児童生徒に伝えるなど積極的に評価した	三重県	97.1		97.6		99.4		98.1
		全国	96.9	A	96.7	A	98.4	C	97.4
		全国との差	0.2		0.9		1.0		0.7
⑪ (56)	前年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用	三重県	92.9		98.1		97.6		98.9
		全国	93.6	A	95.8	C	97.0	A	96.6
		全国との差	-0.7		2.3		0.6		2.3
⑫ (80)	地域等の人材を招へいた授業等の実施	三重県	81.9		82.9		88.4		90.4
		全国	76.3	A	76.3	C	82.4	A	84.2
		全国との差	5.6		6.6		6.0		6.2
⑬ (111)	校長の授業の見回り（週に2日以上）	三重県	84.5		95.4		98.2		96.6
		全国	91.6	A	93.1	A	94.2	C	94.5
		全国との差	-7.1		2.3		4.0		2.1

※表中のA・B・Cは、「全国との差」の変位を表し、Aは「改善・上昇」を、Bは「変動なし」、Cは「下降」を表す。
 ※表中の+・-は、三重県の割合の変位を表し、+は「改善・上昇」を、-は「下降」を表す。
 ※表中の○は、上記に示した「A・B・C」及び「+・-」の数値が±5ポイント以上離れていることを表す。
 ※表中の網かけは、当該年度と同じ質問紙項目がなかったものである。

《生徒質問紙》

質問紙番号	質問項目		H 2 6	H26→H27	H 2 7	H27→H28	H 2 8	H28→H29	H 2 9
①	基本的な生活習慣の状況 「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に就寝している」「毎日、同じくらいの時刻に起床している」の平均値	三重県	86.9	-	86.8	+	87.4	-	87.1
		全国	86.6	C	86.9	A	86.9	C	87.1
		全国との差	0.3		-0.1		0.5		0.0
	(1) 朝食を毎日食べている	三重県	93.3	-	93.1	+	93.8	-	93.6
		全国	93.5	C	93.5	A	93.3	C	93.2
		全国との差	-0.2		-0.4		0.5		0.4
	(2) 毎日、同じくらいの時刻に就寝している	三重県	75.0	+	75.3	+	75.6	+	75.7
		全国	74.1	C	75.2	A	75.2	C	75.6
		全国との差	0.9		0.1		0.4		0.1
	(3) 毎日、同じくらいの時刻に起床している	三重県	92.3	-	91.9	+	92.7	-	92.0
		全国	92.1	C	92.1	A	92.3	C	92.4
		全国との差	0.2		-0.2		0.4		-0.4
②	子どもたちの自尊感情の状況 「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦する」「自分には、よいところがあると思う」の平均値	三重県	77.7	+	78.1	+	79.0	+	80.6
		全国	76.3	C	77.0	A	77.7	A	78.8
		全国との差	1.4		1.1		1.3		1.8
	(4) ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある	三重県	94.6	+	95.1	-	95.0	+	95.5
		全国	93.9	A	94.2	C	94.3	A	94.7
		全国との差	0.7		0.9		0.7		0.8
	(5) 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦する	三重県	69.5	+	69.7	+	70.8	+	73.2
		全国	68.0	C	68.8	A	69.6	A	71.0
		全国との差	1.5		0.9		1.2		2.2
	(6) 自分には、よいところがあると思う	三重県	69.1	+	69.4	+	71.3	+	73.2
		全国	67.1	C	68.1	A	69.3	A	70.7
		全国との差	2.0		1.3		2.0		2.5
③ (10) 将来の夢や目標を持っている	三重県	71.6	+	71.7	-	71.0	+	71.2	
	全国	71.4	C	71.7	C	71.1	A	70.5	
	全国との差	0.2		0.0		-0.1		0.7	
④	平日の子どもたちのテレビ・テレビゲーム等の使用状況 「平日のテレビ等の視聴（3時間以上）」「平日のテレビゲーム等の使用（3時間以上）」の平均値	三重県	29.6	+	27.7	+	23.4	-	25.5
		全国	25.9	A	25.5	A	21.5	C	23.4
		全国との差	3.7		2.2		1.9		2.1
	(12) 平日のテレビ等の視聴（3時間以上）	三重県	35.2	+	32.4	⊕	25.5	-	27.3
		全国	31.5	A	30.5	A	24.1	C	25.3
		全国との差	3.7		1.9		1.4		2.0
	(13) 平日のテレビゲーム等の使用（スマホのゲームを含む）（3時間以上）	三重県	24.0	+	22.9	+	21.2	-	23.6
		全国	20.3	A	20.5	A	18.9	A	21.4
		全国との差	3.7		2.4		2.3		2.2
	⑤ (14) 平日のスマホの通話やメール、インターネットの使用（3時間以上）	三重県	24.5	+	21.5	+	18.6	-	20.6
		全国	19.8	A	18.2	A	16.6	C	18.1
		全国との差	4.7		3.3		2.0		2.5
⑥ (15) 平日の学習時間（1時間以上）	三重県	64.4	+	66.5	-	65.2	+	66.5	
	全国	67.9	A	69.0	C	67.9	C	69.6	
	全国との差	-3.5		-2.5		-2.7		-3.1	
⑦ (16) 休みの日の学習時間（1時間以上）	三重県	57.4	+	59.9	-	59.8	+	62.0	
	全国	67.4	A	68.7	A	67.8	A	69.4	
	全国との差	-10.0		-8.8		-8.0		-7.4	
⑧ (18) 授業時間以外に読書をする子どもたちの割合（10分以上）	三重県	50.7	-	48.6	-	46.4	+	47.7	
	全国	53.0	C	52.2	A	49.7	C	51.4	
	全国との差	-2.3		-3.6		-3.3		-3.7	
⑨ (26) 家の人（兄弟姉妹は含まない）と学校での出来事について話をする	三重県	72.5	+	73.4	+	73.7	+	74.0	
	全国	72.6	C	73.7	C	74.1	A	74.3	
	全国との差	-0.1		-0.3		-0.4		-0.3	
⑩ 削除	三重県					66.8			
	全国					67.2			
	全国との差					-0.4			
⑪ (31) 家で、自分で計画を立てて勉強している	三重県	47.3	+	51.0	-	50.3	+	54.3	
	全国	46.6	A	48.8	C	48.4	A	51.5	
	全国との差	0.7		2.2		1.9		2.8	
⑫ (34) 家で、学校の授業の復習をしている	三重県	45.5	+	48.9	-	48.5	+	48.6	
	全国	50.4	A	52.0	A	51.0	A	50.5	
	全国との差	-4.9		-3.1		-2.5		-1.9	
⑬ (35) 学校に行くのが楽しい	三重県	84.8	-	83.9	+	84.0	-	82.9	
	全国	82.4	C	82.1	A	81.4	C	80.9	
	全国との差	2.4		1.8		2.6		2.0	

質問紙番号	質問項目		H 2 6	H 2 6-H 2 7	H 2 7	H 2 7-H 2 8	H 2 8	H 2 8-H 2 9	H 2 9
⑭ (40)	先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う	三重県	74.0				79.6	A +	82.2
		全国	74.1				78.0		80.4
		全国との差	-0.1				1.6		1.8
⑮ (41)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる	三重県					77.4	A +	79.3
		全国					74.1		75.5
		全国との差					3.3		3.8
⑯ (42)	地域行事への参加	三重県	50.4	C +	50.7	C +	50.9	C -	47.2
		全国	43.5		44.8		45.2		42.1
		全国との差	6.9		5.9		5.7		5.1
⑰ (43)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある	三重県	54.6	C -	53.6	A ⊕	65.9	C ⊖	57.8
		全国	55.6		55.9		65.8		59.2
		全国との差	-1.0		-2.3		0.1		-1.4
⑱ (45)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがある	三重県					45.7	C +	46.3
		全国					48.7		49.7
		全国との差					-3.0		-3.4
⑲	子どもたちの規範意識の状況 「学校の規則を守っている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」の平均値	三重県	93.3	A +	94.4	B -	94.2	A -	94.1
		全国	93.5		93.9		93.7		93.3
		全国との差	-0.2		0.5		0.5		0.8
	(51) 学校の規則を守っている	三重県	93.4	A +	95.2	A +	95.9	A +	96.5
		全国	93.0		94.4		94.7		95.2
		全国との差	0.4		0.8		1.2		1.3
	(54) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	三重県	92.8	A +	93.9	C -	93.7	A -	93.0
		全国	93.4		93.7		93.6		92.8
		全国との差	-0.6		0.2		0.1		0.2
	(55) 人の役に立つ人間になりたいと思う	三重県	93.8	A +	94.1	C -	93.0	A -	92.7
		全国	94.0		93.7		92.8		91.9
		全国との差	-0.2		0.4		0.2		0.8
⑳ (60)	主体的・協働的な授業に取り組んでいる 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	三重県			69.9	C +	73.1	C +	74.1
		全国			65.7		69.3		71.3
		全国との差			4.2		3.8		2.8
㉑ (63)	授業の中で目標（めあて・ねらい）の提示 ※H27までは「授業のはじめに」	三重県	62.1	A ⊕	75.5	A ⊕	85.5	A +	90.2
		全国	71.5		79.7		84.9		87.8
		全国との差	-9.4		-4.2		0.6		2.4
㉒ (64)	授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定	三重県	51.4	A ⊕	58.3	A ⊕	68.8	A +	72.1
		全国	53.3		59.3		63.1		66.1
		全国との差	-1.9		-1.0		5.7		6.0
㉓ (73)	国語の授業の内容がよく分かる	三重県	73.4	A +	76.3	C -	75.4	A +	77.6
		全国	72.0		74.3		74.1		74.9
		全国との差	1.4		2.0		1.3		2.7
㉔ (82)	数学の授業の内容がよく分かる	三重県	73.9	A +	75.4	A -	74.9	A +	75.0
		全国	71.5		71.6		69.4		69.4
		全国との差	2.4		3.8		5.5		5.6
㉕	授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つ ※国語、数学の平均値	三重県	76.5	A +	79.1	A +	79.3	A +	79.8
		全国	77.0		78.4		78.1		77.9
		全国との差	-0.5		0.7		1.2		1.9
	(75) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	三重県	82.0	A +	85.0	B +	85.4	A -	85.3
		全国	82.5		84.2		84.6		83.3
		全国との差	-0.5		0.8		0.8		2.0
	(86) 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	三重県	71.0	A +	73.2	A -	73.1	A +	74.3
		全国	71.4		72.5		71.5		72.4
		全国との差	-0.4		0.7		1.6		1.9

≪学校質問紙≫

質問紙番号	質問項目		H 2 6	H 2 6-H 2 7	H 2 7	H 2 7-H 2 8	H 2 8	H 2 8-H 2 9	H 2 9
㉖ (22)	対象生徒に対して、前年度に、図書館資料を活用した授業を計画的に実施（学期に数回以上） ※H28までは「学校図書館を活用」	三重県	39.5	A ⊕	44.7	C +	45.3	C +	48.4
		全国	42.2		44.9		46.5		49.6
		全国との差	-2.7		-0.2		-1.2		-1.2
㉗ (23)	対象生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施（週に2回以上）	三重県	11.8	A +	13.7	C -	12.0	A +	15.3
		全国	14.1		14.9		15.6		15.6
		全国との差	-2.3		-1.2		-3.6		-0.3
㉘ (33)	授業の中で目標（めあて・ねらい）の提示 ※H27までは「授業のはじめに」	三重県	88.3	C -	87.6	A ⊕	100.0	C -	98.8
		全国	94.0		95.7		97.8		98.3
		全国との差	-5.7		-8.1		2.2		0.5
㉙ (34)	授業の最後に学習内容を振り返る活動の設定	三重県	84.5	A +	87.5	A ⊕	96.2	C +	96.8
		全国	89.2		90.9		93.0		94.3
		全国との差	-4.7		-3.4		3.2		2.5
㊳ (51)	学校生活の中で子どもたち一人ひとりのよい点や可能性を見つけ、児童生徒に伝えるなど積極的に評価した	三重県	96.9	A +	99.4	C -	98.8	C -	96.8
		全国	96.5		95.8		97.2		95.5
		全国との差	0.4		3.6		1.6		1.3
㊴ (56)	前年度全国学力・学習状況調査や独自の調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用	三重県	91.4	A +	94.4	C +	95.5	C -	94.2
		全国	90.4		93.2		94.8		94.4
		全国との差	1.0		1.2		0.7		-0.2
㊵ (79)	地域等の人材を招へいた授業等の実施	三重県	61.7	A +	64.0	A ⊕	74.2	C +	75.8
		全国	58.5		58.8		65.1		68.9
		全国との差	3.2		5.2		9.1		6.9
㊶ (109)	校長の授業の見回り（週に2日以上）	三重県	69.2	A ⊕	81.4	A ⊕	88.1	C +	88.5
		全国	79.3		81.4		82.6		83.5
		全国との差	-10.1		0.0		5.5		5.0

第6章 児童生徒の学力向上のための今後の取組【本冊：P57～】

子どもたちの「わからない」「できない」を「わかった」「できた」という実感につなげる取組が進められるよう、県教育委員会では、「全ては子どもたちの笑顔のために」という強い思いで、広域教育行政の立場から創意工夫した取組を進め、より一層市町と連携しながら学校・家庭・地域の取組を支援してまいります。

○ 授業改善に向けた取組

(1) 「めあての提示」と「振り返る活動」の効果的な実施

「めあての提示」では、「何を学ぶのか」「何を考えていくのか」を「問いの形」で提示することや提示のタイミングを工夫することで、子どもに思考の見通しを持たせることが重要です。その際、子どもが授業中にめあてを絶えず認識できるよう、必ず板書することが大切です。

「振り返る活動」では、「何がわかったか」「何ができるようになったか」を学習内容に沿って子ども一人ひとりに記述させます。教科や単元に応じて、文章、図、計算など多様な方法があります。文章で記述する場合は、書き出しを与えてその後を書かせたり、キーワード（重要語句や公式、なかまの考え）を使って書かせたりするなどの工夫が考えられます。

(2) 「校長の授業の見回り」の効果的な実施

「校長の授業の見回り」では、参観の視点（子どもの様子、授業規律、「めあての提示」と「振り返る活動」の内容、発問・指示、板書など）を持って1時限を通じた授業観察を行うことが効果的です。授業後には、授業者が意欲的に取り組むことができるよう具体的にアドバイスを行うことが大切です。

(3) 国の調査官による授業改善研修会の実施

子どもたちの実態に応じた習熟度別やTTなど、効果的な少人数指導についての授業公開を伴う実践的な研修会を、国の調査官を招へいし実施します。

○ 各学校の課題に応じた学-Viva!!セットとワークシートの活用

本県の課題に対応した学-Viva!!セットやワークシートを提供していきます。各学校においては、全国学調の結果分析から明らかになった課題に応じて計画的に活用してください。なお、授業における繰り返しの指導、家庭学習、補充学習での活用が効果的です。

○ みえスタディ・チェックの活用による検証と改善

みえスタディ・チェック実施後、自校採点を行い、その結果を授業改善サイクル支援ネット（以下「支援ネット」という。）に入力することで、リアルタイムに、各学校では設問ごとに自校と県の正答率が比較できます。このことにより、子どもたちのつまずきを把握し、授業改善や個に応じた指導につなげることができます。

県教育委員会では、設問ごとに対応したワークシートを支援ネットで提供していますので、それを活用して、子どもたちのつまずきに応じて、課題の克服につなげてください。

○ 経年的な課題を克服するための取組

子どもたちに見られる経年的な課題として、国語では「引用したり要約したりして書くこと」「根拠に基づいて自分の考えを書くこと」、算数・数学では「割合」「図形」につまずきがあります。

子どもたちがこれらのつまずきを克服できるよう、学習内容における各学年の系統性や子どもにつまずきに対応した指導のポイントを示した資料を配付しますので、授業改善につなげられるよう活用してください。

また、理科では「観察・実験の技能（実験器具の名称や操作方法等）」「科学的な用語（蒸発等）」「濃度、圧力、電気等の計算（質量パーセント濃度の問題等）」につまずきが見られました。これらの課題に対応したワークシートを提供していますので、繰り返し活用してください。また、平成24年度と平成27年度の全国学調の問題をワークシート化して提供していますので、あわせて活用してください。

○ 家庭学習の支援（宿題用学-Viva!!セットの配付）

子どもたちの家庭学習の時間が短いという課題を踏まえ、家庭学習に自主的に取り組めるよう、自分の力で解けるヒントを掲載したワークシート（宿題用学-Viva!!セット）を配付しました。ワークシートは、国語では漢字や言葉の使い方、算数・数学では四則計算や図形の基礎的な問題を中心に作成していますので、家庭学習や補充学習で計画的に活用してください。

○ 家庭・地域への情報発信

みえの学力向上県民運動として、チラシの配布を通じて家庭・地域への周知・啓発を行います。チラシでは、全国学調の結果概要について、子どもたちの学習状況や自尊感情の高まりとともに、スマホの使用時間が長いことや家庭学習の時間が短いこと、自主的な読書の時間が短いという状況を伝え、学校・家庭・地域それぞれの役割に応じた取組を呼びかけています。